

今週のセルグループ(赤字)		7月19日(日)~7月25日(土)	
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉	7/22(水) 午後12:00	交わり	7/12 2名 主は私をご覧になっておられる方であることに、癒しと励ましをいただきました。
グレイス 鈴木千姉	8/7(金) 午後8:30	鈴木宅	7/10 4名 癒されたことを信じ続けて、今は完璧に癒されている。
Gospel 鈴木尚姉	7/26(日) 礼拝後	交わり	7/11 3名 病はずで癒されている、と告白して祈っているうちに痛みがなくなった。感謝します!
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	7/12 9名 ただ神様のあわれみを求めなさいと迫られました。
からし種 磯貝姉		LINEで 分かち合い	7/12 3名 家族の祈りが必要な時進んで祈ってあげたいと思いました。
ユース 岩下兄	7/19(日) 礼拝後	LINE 電話	7/3 2名 礼拝でのいやしの祈りを同じようにして祈った。貧血がいやされていくのを体感じた。中止しました。
Rock 鈴木洋兄	7/29(水) 午後8:30	鈴木宅	7/1 1名 事態は変わっていないが、平安が与えられ、これからも祈っていこうと思った。
シャローム 平岩姉	7/25(土) 午前10:00	平岩宅	7/11 2名 自分から出てくるものは間違っている。そんな悪魔の働きを退けている。
なつめやし 高橋智姉	7/19(日) 練習後	高橋宅	7/5 4名 自分の都合によらず、主がせよと言われたら、時間を擱げて喜んで仕えていきたい。
リジョイス 杉本姉	7/21(火) 午前10:15		6/25 2名 セルリーダーのためにお祈りください。
ジョイフル 穂刈兄	7/30(木) 午後9:00	Zoomで 分かち合い	7/2 4名 口に出していることがいかに悪い事であったかに気付かされた。
アガベ 長塚姉	7/26(日) 練習後	コミュニティ センター	7/12 4名 神様の命令に従うだけで後は神様が何とかしてくれると分かった。
サクセス 鈴木勝兄	7/26(日) 練習後	デラドロー 名駅	7/12 9名 一人一人のためにお祈りしました。
リーダーズ セル	8月はお休み	Zoomで 分かち合い	7/8 21名
セル研修	休講		
ビジョン 平岩恵兄	毎日曜日 午後1:00	コメダ	7/12 4名 祈りながら仕事をしていたので、落ち着いた対応をすることが出来た。
worship 長塚寛兄	中止		
中学生 梅田姉	中止		
キッズ2 小山姉	中止		
キッズ1 芳井姉	中止		
Shine 小原姉	7/25(土) 午後6:30	エステル	7/11 3名 「必ず癒されると信じなさい」と語られました。
ギデオン 芳井兄	8/8(土) 午後6:30	芳井宅	
カルバリ 野田兄	7/21(火) 午前9:00	野田宅	7/7 5名 新居で、食事の交わりをしました。
神の家族 伊岐見真姉	7/19(日) 午後7:30	交わり	6/28 2名 誰でも受け入れたい、笑顔で迎えたいと思いました。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会	
		司会	奏楽		奏楽
今週	7/19(日)		鈴木千姉	7/23(木)	鈴木尚姉 リトリートハウス
来週	7/26(日)		鈴木尚姉	7/30(木)	鈴木千姉 リトリートハウス
		開始時間 午前10時		開始時間 午前10時	

※ 本日は礼拝後、洗礼式を行います。祝福をお祈り下さい。

※ 7/21(火)のバイブルスタディは休講になります。

※ 7/23(木)と7/30(木)の祈祷会は宮川リトリートハウスで行われますので、会堂はライブ配信になります。


※ 8/13-14(木・金) 全国聖会 参加申込受付中。
場所 姫路キャッスルグランヴィオホテル 現地集合です。

※ 藤井友子姉妹のお母様が亡くなりました。残されたご家族の平安と慰めのためにお祈り下さい。

祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
 - ▶ 家族知人をキリストへ
 - ▶ 教会近隣の人々の救い
 - ▶ 東海地方の救いのために
 - ▶ 日本の救いのために
 - ▶ 世界の救いのために
- ・働きを覚えて
 - ▶ バイブルスタディの働き
 - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶ リバイバルママズの働き
 - ▶ 那古野アウトリーチの働き
 - ▶ 祈祷会の祝福
 - ▶ 日曜礼拝の祝福
 - ▶ 牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
 - ▶ LIG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜)	(第一) 午前 9:00~10:30 (第二) 午前11:00~12:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 9:00~10:30
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:00~12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈祷会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈祷 (土曜)	午前 6:00~ 7:00



主の御手 週報 NO.1304

2020年7月19日(日)発行 7月第3週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、
(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始10時

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧ください。)
- ・連絡

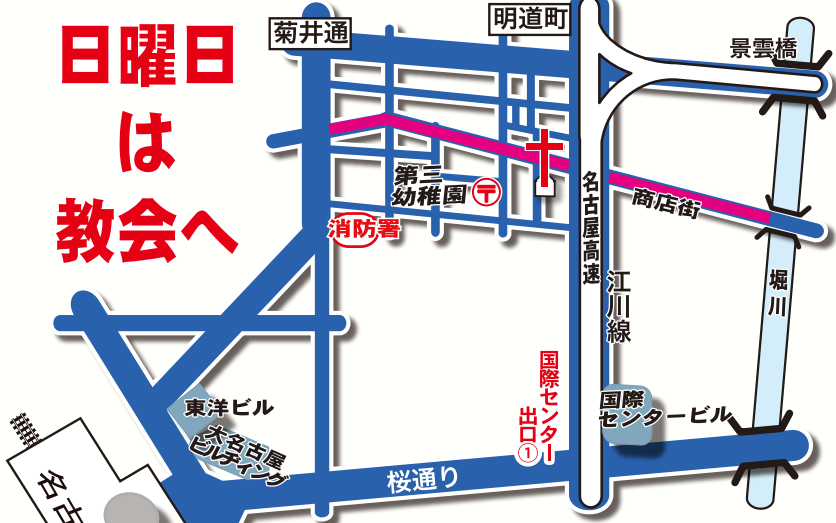
お願い

(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。

(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄りをお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ **感謝** すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたに望んでおられることです。(テサロニケ人への手紙 第一5章18節)

日曜日は教会へ



主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



「出エジプト 20:3 あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。」

ほかに神があってはならない

多様性

最近、テレビや新聞などで、「多様性」「ダイバーシティ」といった言葉を耳にするようになりました。ただ言葉だけを聞いても、何のことを言っているのかよくわからないといった感じがしますが、「様々な考え方や価値観」という意味で使われます。働き方や、家族のあり方などは様々であり、人それぞれ考え方や、価値観は異なるので、それを否定するのではなく、受け入れましょうという時には、「多様性を受け入れる」「多様性を認める」というような言い方をします。

ひと昔前の日本人の働き方は、女性は、結婚し子供ができれば仕事を辞めて家事育児に専念するといった風潮がありました。最近では、仕事と育児の両立を求める人が多くなり、結婚して子供ができて、会社を辞めずに育児休暇制度を利用して、しばらくの間休みをとり、ある時期を過ぎると職場に復帰するという人も増えてきました。また、女性だけではなく、男性が育児休暇を取得するケースも増えてきました。さらには、コロナをきっかけと

して、テレワークや時差出勤などの勤務スタイルが増えつつあり、働き方も「多様化」していると言えるかもしれません。

また、最近問題となっているLGBT（性的少数者をあらわす言葉）は、今、あらゆる国や地域でその動きを推進するための運動や活動がなされています。「性のあり方は多様であって、周りはそのを受け入れてあげるべきである」といった、聖書とはまったく相反する考えが広まっている現実もあります。

家庭のあり方についても、人それぞれであり、それを非難したりするのはではなく、多様性を認めて受け入れようとする向きがあります。「夫婦だからといって一緒に暮らさないといけないことはない」という考え方から、「別居婚」や「週末婚」と言われるような、平日は離れて暮らしていて週末だけ会って過ごすなど、子育てがひと段落した世代の人が、離婚はしないけれども互いに干渉しないで、自分の好きなことをやって過ごすといった生活をしている人もいたりします。

八百万の神

日本では古くから、八百万（やおよろず）の神がいると考えられています。八百（やお）は数が極めて多いことを意味し、万（よろず）は、様々であるという意味なので、「多種多様な数多くの神」ということです。山、海、森、大木、巨大な岩など、自然の中に神が宿っていると信じて、それを拝んでいます。その他にも、安産や子宝の神様、交通安全の神様、商売繁盛の神様など数えきれないほどの神様が存在していると考えています。

そして日本人は、様々な文化や考え方を受け入れる風習があります。家族でクリスマスを祝い、大晦日には除夜の鐘を鳴らし、

元旦は神社へ初詣に行き、願い事をしておみくじを引き、結婚式は教会で挙げて、子供ができれば、七五三のために神社へ行き、葬式はお坊さんと呼んで行うといったことが、当たり前のように行われています。このようにして、日本では、様々な考え方や、価値観があり、良いと思われるものであれば、それを受け入れたり、認めたりする事柄が数多くあります。

神を信じて生きる人生と信じないで生きる人生

しかし、私たちの人間の生き方、人生は大きく分けて二つに分かれるのではないかと思います。「真の神を信じて生きる人生」と「真の神を信じないで生きる人生」です。前者は、「この世界は、神によって創造されたのだ」と信じています。創造主である神を信じて生きるならば、私たちは正しく考え判断して進んでいくことができます。結婚や夫婦関係、家庭のあり方についても、聖書に基づいて正しく考えることができます。たとえ過ちを犯したとしても、それに気づかせてくださる方がおられ、また正しい道へと引き戻してくださる方がともにいてくださるのです。

一方、真の神様を信じて生きていないと、何が正しいのかが分からなくなり、世の考え方、思想、価値観によってどんどん自分本位の考えへと進んでいってしまいます。自分の利益になることだけを追い求め、自分の目に正しいと思うことを行い、楽しく生きていければそれでいいというような楽観的な考えになっていきます。

神を信じて生きる人の人生と、そうでない人の人生は、どちらを選択するのかで大きく変わります。今日、明日大きな変化はなくても、10年20年経った時に「経済が祝福されていた」「習慣が

変えられた」「必要が満たされていた」という明らかな変化が起きているはず。私自身も、「もし、今現在も神様を信じないで生活していたらどうなっているだろうか」と考えるだけで、「神様のもとから離れたくない」と思いますし、主のあわれみで生かされているのだと感謝せずにはいられなくなります。

神を恐れよ

私たちは、ただ真の神様だけを神として礼拝し、仕えていかなければなりません。伝道者の書には、「結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。（伝道者12:13）」とありますが、人間のすることは、真の神を恐れ、その命令を守ることであり、私たちはいつもここに立ち返らなければなりません。

私たちが信じている神様は、人間が造り出した神ではなく、私たち人間を造られた神様であり、今も生きておられ、愛してくださっている愛の神であり、私たちに祝福を与えてくださる真実なお方であられます。神はお一人であられ、ほかには神はいません。私たちはただ主を恐れて歩んでまいりましょう。